

名古屋第二赤十字病院で診療を受けられる患者さんへ

～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	院内処方箋への腎機能表記と薬剤師の疑義照会について		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～（西暦）2018年10月		
研究実施診療科	薬剤部		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2018年8月27日	
	院長が研究実施を許可した日	2018年8月28日	
対象となる方	対象期間内に、名古屋第二赤十字病院薬剤部において、腎機能低下に関連した疑義照会の対象となった処方方をされた方。		
対象期間	（西暦）2017年1月 ～（西暦）2018年5月		
研究責任者	所属	薬剤部	氏名 木下 元一
研究の意義	<p>薬剤師は処方箋中に疑わしい点がある時は、その処方箋を交付した医師に問い合わせ、その疑わしい点を確認することが義務付けられています。（以下、これを疑義照会とする）しかし、臨床検査値を確認しないと実施できない疑義照会については、全例で電子カルテを参照し確認するのは困難です。その一例として、腎機能低下患者に対する薬剤投与量の疑義照会があげられます。当院では院内処方箋を対象に、2018年2月から腎機能関連の臨床検査値の表記を開始しました。これにより調剤時点において簡便に腎機能に関連した処方評価が可能となりました。取り組みの開始前後で疑義照会を抽出・評価することで、適正な疑義照会を実施するために必要な注意点などが明らかになると考えています。</p>		
研究の目的	質の高い薬物療法の提供を目的とします。		
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、検討します。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。（年齢、体重、性別等の基本情報、腎機能関連の検査値（血清クレアチニン値、推定糸球体濾過量）		
結果の公表	愛知県病院薬剤師会雑誌で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直		

	ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報は、本研究の目的以外には使用しません。
問い合わせ先	名古屋第二赤十字病院 薬剤部 安田 知弘 電話 052-832-1121 (代表)